

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第10回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）協議（公開）

自主審議事項について

### （2）その他（公開）

## 3 開催日時

平成28年12月21日（水）午後6時30分から午後8時05分まで

## 4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：荒川清尊、岡田雅範、坂田浪平、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、  
松原功、水嶋敏昭、陸川昇一

・事務局：山田弘中郷区総合事務所長、見波正美次長、城戸俊夫市民生活・  
福祉グループ、教育・文化グループ長

総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、樋口和輝主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは  
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

## 8 発言の内容（要旨）

### 【丸山班長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録確認：「水嶋敏昭」委員と「陸川昇一」委員に依頼。

はじめに、協議事項（１）の「自主審議事項について」継続審議事項となっている「勝馬投票券の特定財源」について協議する。事務局が示した今後の審議スケジュールでは、まずは中郷区が抱える地域課題を把握・整理することになっていた。このため、前回の地域協議会では、日頃感じている地域の課題について、特にテーマや分野は定めず、各委員より自由に発言いただいたところである。事前に配布された資料No.1に、各委員から出された課題の内容がまとめられているので、本日は、この資料を基に意見交換を行い、課題を整理していきたいと考えている。また、他にも課題があったら併せて発言をお願いしたい。各委員の発言を求める。

#### 【竹内(靖)委員】

2点ほど、新たな情報を入手したのでお伝えしたい。まず、空き家の件についてだが、先日、まちづくり市民大学に出席した。その中で、安塚区では民間団体が、住める状態の空き家をリフォームして貸し出し、シェアハウスとして活用する活動を始めているとのことである。また、これも先で行われた市内まちづくり団体との意見交換会の中で、安塚区ではリフォームの補助として150万円の補助金を交付している旨の報告があった。行政と住民組織によるタイアップが、何らかの形で行われていると感じている。もう1点は二本木駅の件である。昨日、えちごトキめき鉄道（株）との話し合いを行った。実は、来年度4月頃から将来に渡る二本木駅のビジョンの策定を進める考えを持っている。そもそもの発端は、中学生とのワークショップの中で、二本木駅の桜の下で食事をしたいという意見があったことによるものである。策定を進めるに当たっては、地域活動支援事業を活用することになると思われるが、上限が概ね100万円のため金額的に不足することになる。このため、基金の用途による活用も合わせて考えた中で、しっかりとした構想を描いていきたいと思っている。

#### 【山田所長】

空き家については、利活用家屋と危険家屋の2つの対策に大きく分かれることになる。区内でも、線路沿いで危険と思われる空き家があるため、このような点も課題の抽出に当たっての判断材料にしていただきたい。また、農業問題を課題として挙げられた委員が何人かおられたが、内容をもう少し絞りこみ、例えば、担い手の育成とか、集落一農場の推進など具体的なものを挙げるようにしたほうがよいと考えている。

### 【高橋会長】

二本木駅については、長期ビジョンを策定する時期に来ていると私自身も感じている。毎年、思いつきで事業を行うのではなく、しっかりとした年次計画に沿って進めていくことが望ましいと思われる。この件は、本来、「地域を元気にするために必要な提案事業」に結び付けていくのが理想なのではないだろうか。地域活動支援事業を活用するよりも、もっと拡大した形で事業を展開できることが期待できる。そのためにも、やはり長期的なビジョンは必要になってくる。

### 【坂田委員】

12月15日発行の広報上越に、「空き家等対策計画」を策定した旨の記事が掲載されていた。この計画書は、数十ページに及びとても詳細に記載されており、上越市の状況がよく整理されている。地域協議会としても、これについて勉強する必要があると思われるため、今後、資料として提供いただきたい。我々が検討すべきことは、生産性の形を持った移住・定住に対し、どうやって空き家を結び付けていくか考えることである。

### 【高橋会長】

当区における空き家情報を、行政側でリアルタイムに提供できるような形はとれないものか。そうすれば、危険家屋や利活用家屋などの状況が逐次把握できると思われる。

### 【山田所長】

現在は、どちらかというと主に危険家屋の情報が整理されている。これに、利活用家屋を含めることになると、改めて町内会長に依頼し調査をする必要がある。ただし、当区の場合は、建物と底地が同一でないケースがあるなど複雑になっていることが想定される。

### 【松原委員】

関川村の取組を紹介したい。ここには体験施設が存在する。昔の日曹の社宅のような平屋で2棟あり、住むか住まないかは別としてあくまで体験としての施設となっている。人は、パンフレットだけ見て、その土地に来て実際に住もうという気には、なかなかないものである。しかしながら、体験で1か月も住んでみれば、その土地の良い面も悪い面も見えてくる。このように、段階を踏んでいかないと、うまくいかない。ただ、空き家の情報を載せていても、はっきり言って誰も来ないと思う。住め

る空き家があるのであれば、まず体験から始めてみるのもよいのではないだろうか。

#### 【水嶋委員】

中郷区の住宅は中途半端に大きい家が多い。若い人達や定年を迎えたような人達は大きい家は借りないし、買わない傾向がある。逆に、小さい家で、しかも落雪など屋根の雪処理の心配をしないで済むような家は、借りたり買ったりするようである。空き家を活かそうという考えはすばらしいと思うが、私は空き家があったら解体する方に考えがいつてしまう。

#### 【竹内(靖)委員】

空き家の活用は、人口流出を少しでも減らすという観点からは有効な対策と思われる。ただし、それを実行するためには、中郷区の魅力発信が必要不可欠となる。いろんな団体に呼びかけながら結び付けていくことが大切なのであり、空き家をどうにかしましょうという根底の考えは、個人的には全く無いと思っている。一方、危険家屋については、既に条例も定められていることから、行政がしっかりと監理すべきものである。協議会へは情報提供程度でよいのではないだろうか。いずれにしても、地域協議会としての役割をきちんと整理し、議論していくべきである。

#### 【陸川委員】

農業の件についてだが、最近は農協離れの状態が進んでいる状況である。しかしながら、今後も農業を続けていくには、やはり農協をうまく活用していくことが必要と思われる。今は、インターネットが発達していることから、自分達で売った方が高く売れる。肥料でさえ、農協から買わずに、わざわざホームセンターなどで買う人も多い。農協は、もっと農業者のことを考え、農業経営の手法について指導するべきである。また、兼業農家が集まって機械のみを共同で使う場合、この人が使うと機械が壊れるなどの理由から、しっくりいかないケースが多い。そのような人は、結局自分で機械を買うことになってしまう。一方、法人化した場合は、それで稼いで生活していかななくてはいけないという意識が芽生えるため、同じく共同で機械を使うにしても、大切に扱うことにつながることになる。このため、中郷区として法人団体を作っていく方向性ができればよいのではないかと思っている。そうすれば、新たな特産品が開発されることが期待でき、併せて駅の市で売ることもできることになる。

#### 【高橋会長】

5年後、10年後先を考えた時に、農地を荒地にしたくないという思いを持っている。

このため、担い手をどうやって育成していくのかなどの問いかけを、これからもしていかなないと、後継者がいないため、結果として荒地になってしまうことが懸念される。転作により、付加価値の高い農作物に変えて直販されているケースもあるが、このような地で稲作を同様に転作するといっても難しいと思われる。そのようなことから、将来荒地にしたいくないといった時にどのような手段が有効なのか、木田庁舎の農政担当課や農協の職員を呼んで勉強会をして行かなければならないと感じている。一長一短で、すぐに方向性を見いだせるものではないと思っている。

#### 【山田所長】

当区においては、個人農家が多く、地域でまとまり、法人化するといった動きが見られない。ただ、町内会によっては、大規模に行っている担い手もあり、県外へ勉強会に赴くなど熱心に活動しているとのことである。このような動きを大事にしていくと、他の地区にも良い影響を与えると共に、次につながっていくことが期待される。また、肥料については、ある程度大規模に行っている農家が、まとまって農協から肥料を共同購入する手もある。そうすることにより、個人で購入するよりも値引きが大きくなるようである。このようなことから、農業者のまとまりは大事なことだと言える。

#### 【水嶋委員】

減反により、豆やそばを作付けするのは一般的であるが、最近は竹の子を植えている人も見受けられる。

#### 【山田所長】

竹の子は、5年くらい前に始めたと思われるが、もう少し経てば、将来の特産品として扱えることも考えられる。

#### 【陸川委員】

子育て支援についてだが、保育園などで小さい子供をもっと長い時間預かってもらうようにはできないだろうか。若いお母さん達が働きたくても働けない事情もそこにあるのではないかとと思われる。子供を預けて働きたいのだが、時間が合わないためパート勤務を余儀なくされている傾向がある。そのような方々が正規に働くことによって、市も税収増につながっていくことになる。様々な職場において、良い人材の確保が難しい状況である。このような状況を打破するためにも、子育て支援は必要である。

#### 【山田所長】

子育て支援の中でも、市全体で考えるべき問題については、自主審議を積み重ねた中で、市に対し意見書を提出するというのも一つの方法である。また、先ほどの移住に係る体験施設の件についても、当区に限った話ではない。市全体で、このように考えたらよいのではという提案をするのは、正に意見書としてのまとめ方となる。

#### 【高橋会長】

本日欠席された古川委員が、先日このようなことを言っていた。「子育てを終えたお母さん達を何人か集め、民間の託児所のような運営はできないだろうか。その中で、子育てに対し、何かアドバイスできれば。」ということである。この話を聞き、仮に幾つかのグループができれば、その中に協議会委員がオブザーバーとして入り、皆さんの意見等を吸い上げ、発案していくような流れに持っていくことも考えられると感じている。なお、同じく本日欠席された松井委員が課題として挙げた、二本木駅通学路の維持管理の件と、竹内（昭）委員が挙げた同駅の進入路の件については、いずれも行政側でしっかりと対応いただきたい案件だと個人的には思っている。

#### 【松原委員】

本日欠席された岡田（龍）委員が、乗合タクシーの件を課題に挙げていた。私も公共交通懇話会の委員を務めているが、確かに利用率はかなり低い状況である。皆さんの中で、同タクシーを利用された方はいないと思われるが、これは高齢者のための交通手段だと思い込んでいるところがあるからなのではないだろうか。先般、視察に行った長野県生坂村は、僅か 1,800 人程度の人口で村営バスを運行しており、便数は少ないものの、きちんと経営している。一方、当区は実質、上越市の飛び地であり、どうしても妙高市の新井駅周辺や関山駅周辺を入れたルート設定になってしまう。このようなことから、例えばまちづくり振興会などが資本金を出し、中郷バスのようなものを運行できないかと思っている。

#### 【竹内(靖)委員】

利用率が低いのは、あらかじめ予約をしなければならないなど、利便性の悪さが主な原因だと思われる。この辺りは、今後公共交通懇話会の中で議論を重ねていただきたいと感じている。

#### 【山田所長】

現在、乗合タクシーが運行しているルートは、既に廃止されたバス路線の経路を踏襲しているものである。このため、ルートの抜本的な見直しを行うということも、今

後の対策として考えられる。例えば、鉄道を交通機関の一つとして捉えた場合、二本木駅への乗り入れ体制により駅までつなぎ、そこから電車を利用してもらうなど大胆な切り替えをすることも、今後において検討すべき点である。いずれにしても、公共交通の在り方というのは、中郷区として十分に検討すべき材料であると考えている。

**【高橋会長】**

予定していた時間も経過していることから、意見交換はここまでにしたい。次回は、本日の意見交換を踏まえ、各課題を整理するとともに、課題に対しどのように解決していくのか、それぞれの目指すべき方向性も検討したいと考えている。

**【高橋会長】**

皆さん、他に何かあるか。

ー全委員なしー

**【高橋会長】**

特にないようなので、協議事項(1)の「自主審議事項について」は、これで閉じることとする。

**【高橋会長】**

続いて「その他」に移るが、事務局何かあるか。

**【樋口主事】**

- ・地域協議会だより第2号発行について報告
- ・活動報告会の開催日時について提案

(協議の結果、3月4日(土) 13:30～に決定)

**【高橋会長】**

委員の皆さんから、他に何かあるか。

ー全委員なしー

**【高橋会長】**

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、1月25日(水) 午後6時30分から、「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後8時05分)

## 9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。